

桜溪

芳井中
学校だより
4月号

新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、令和二年度の新学期がスタートしました。これまで誰も体験したことのない異例の状況下でのスタートではありましたが、保護者や地域の方々のご理解・ご協力のもと、無事に生徒を迎えることができましたこと、まずはお礼申し上げます。

しかし、今後の状況がどのように推移するのかは、誰にも見通しが立たず、決して気の抜けない状況であることは、これまでと何ら変わりありません。

学校におきましても、マスク着用の徹底や、「三密（密閉・密集・密接）」の状態を避けるなど、生徒の安全を第一に考慮した上で、できる限りの教育活動を進めていきたいと考えております。とはいえ、未曾有の事態故に手探りの状態での試行錯誤が続いております。何かとご心配をおかけすることがあるかもしれませんが、その点をご理解いただけますと共に、今後とも温かいご支援をいただけますよう、よろしくお願いたします。



生徒の姿のない休校期間中は、まるで時間が止まってしまったように感じられた校内の景色も、朗らかな生徒の声が戻ってくる、とたんに時計の針が動き出し、いつきに春本番といった趣になりました。

始業式（4月7日）

新しい教室で迎えた、新学期。始業式は、校内放送で行いました。その後、各教室では学年団の先生から生徒へ、心を込めて熱いメッセージを送りました。



入学式（4月9日）

穏やかな春の日差しの中、今年29名の新入生を迎えることができました。

新入生代表の、力強い誓いのことばを聞いて、とても頼もしく思えると同時に、私たち職員一同も、生徒や保護者の方々の期待を裏切らないように、誠心誠意頑張らねば！の思いを改めて強く胸に誓いました。



始業式の中で、生徒の皆さんには「目標」を持つことの大切さについて話しました。

【目標を持つと、行動が変わる。行動が変わると結果が変わる。】

なりたい自分に近づくために、一人ひとりが目標を持って、毎日有意義に過ごしてくれることを願います。

